



APOLLO  
MEDICAL HOLDINGS

# 海外研修だより

～薬剤師だって、空を飛ぶ～



## 視察内容

### 視察地：ロサンゼルス

日程：2015年5月30日～6月5日

1日目オリエンテーション  
HMIセミナーの目的  
ケーススタディの概要

2日目市内視察

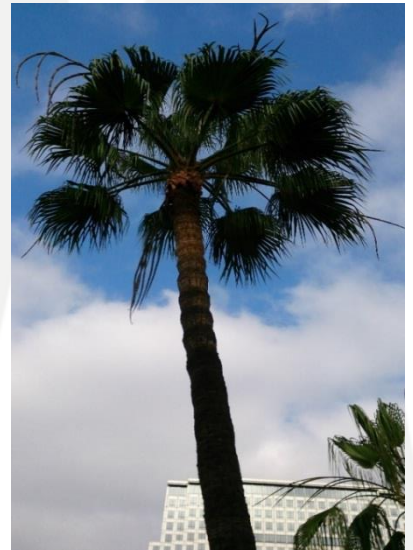
3日目座学

- アメリカの医療保険の概要
- PBM (Pharmacy benefit management)  
の機能と役割
- リフィル処方について
- 薬局の形態について

4日目視察

- 介護施設の視察
- リテール薬局視察 (AltaMed Pharmacy)

5日目ケーススタディ発表



## 視察内容

### ■PBM(Pharmacy benefit management)の機能と役割

- PBMとは、雇用主や保険会社の薬剤給付プログラムを管理する会社である。
- PBMは保険会社やメディケア、メディケイド等と契約している。
- ロサンゼルス地域では、処方薬の95%にPBMが関与している。
- 処方薬の22%はメールオーダー薬局から出ているが、殆どにPBMが関与している。
- 患者が契約している保険会社(PBM)との契約が無ければ薬を出せない。
- 薬局はPBMに確認しない限り、患者に薬を出せない。PBMは薬局からの確認に対し、リアルタイムで処方必要性や薬の量をチェックし回答する。
- PBMは無駄な薬剤の使用を防ぐことにより保険会社が支払う医療費の低減に努めている

### ■リフィル処方について

- リフィル処方により、症状や薬の効果のチェックは薬剤師に任せ、医師は新規や重い症状の患者に注力できる。薬剤師が患者の変化に気付いたら、直ぐに受診を勧める。
- リフィルの有効期限が切れた時、診察を受けずにリフィル処方の継続の希望をする場合が多い。これは薬局の患者サービスであり、薬局と医師とのコミュニケーションの一つになっている。



## 参加者からの感想

オバマケアによって医療の最低限の質が守られるようになったとはいえ、保険契約によって医療内容がコントロールされているアメリカの医療制度には、なかなか頭がついていけなかった。すべての国民が同じ医療を受けられる権利が与えられている日本とは全く違う。保険という商品から発展したアメリカの医療制度を、そのまま日本の制度に取り入れるのは簡単ではない。しかし、限られた医療従事者、限られた財政で、必要とする人に必要な医療を提供するには、この制度は非常に合理的であると思う。医療費削減問題に直面する日本では、取り入れるべき考え方は多いと感じた。

